

平成29年3月27日
国土交通省東北地方整備局
磐城国道事務所

国道49号 ^{たいら}平バイパス
3月28日（火）に4車線全線開通します

〈全線4車線となり、通勤時間帯の渋滞が解消されます〉

国土交通省 磐城国道事務所が事業を進めてまいりました国道49号平バイパスは、暫定2車線区間のいわき市 ^{たいらかみあらかわ}平上荒川～^{うちごう み まやまち}内郷御厩町間（延長2.0km）が、平成29年3月28日（火）に4車線で通行可能となりますので、お知らせいたします。この度の開通により、平バイパス（延長7.7km）は、4車線全線開通となります。

【期待される効果】（別添参照）

- ①物流の輸送時間短縮が見込まれ、定時性の向上に寄与します
- ②通勤時間の短縮が図られ、通勤者の円滑な交通を支援します
- ③磐城共立病院への安定的な救急搬送に貢献します
- ④小名浜港周辺の観光活性化を支援し、復興にも貢献します

1. 4車線開通区間

^{たいらかみあらかわ}平バイパス（いわき市 ^{うちごう み まやまち}平上荒川～同市内郷御厩町）延長2.0km

2. 開通日時

平成29年3月28日（火）15：30（予定）

[記者発表会等：いわき記者会、いわき記者クラブ、いわき市ふるさと発信課]

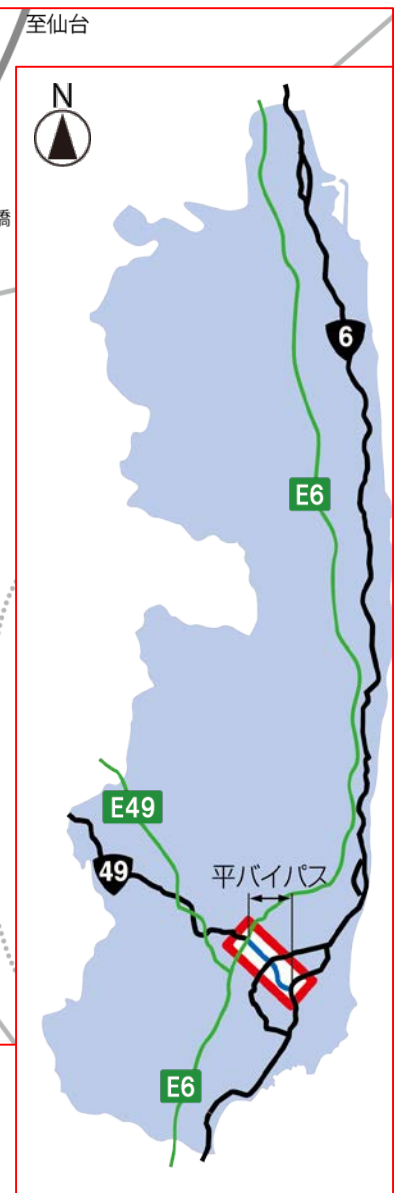
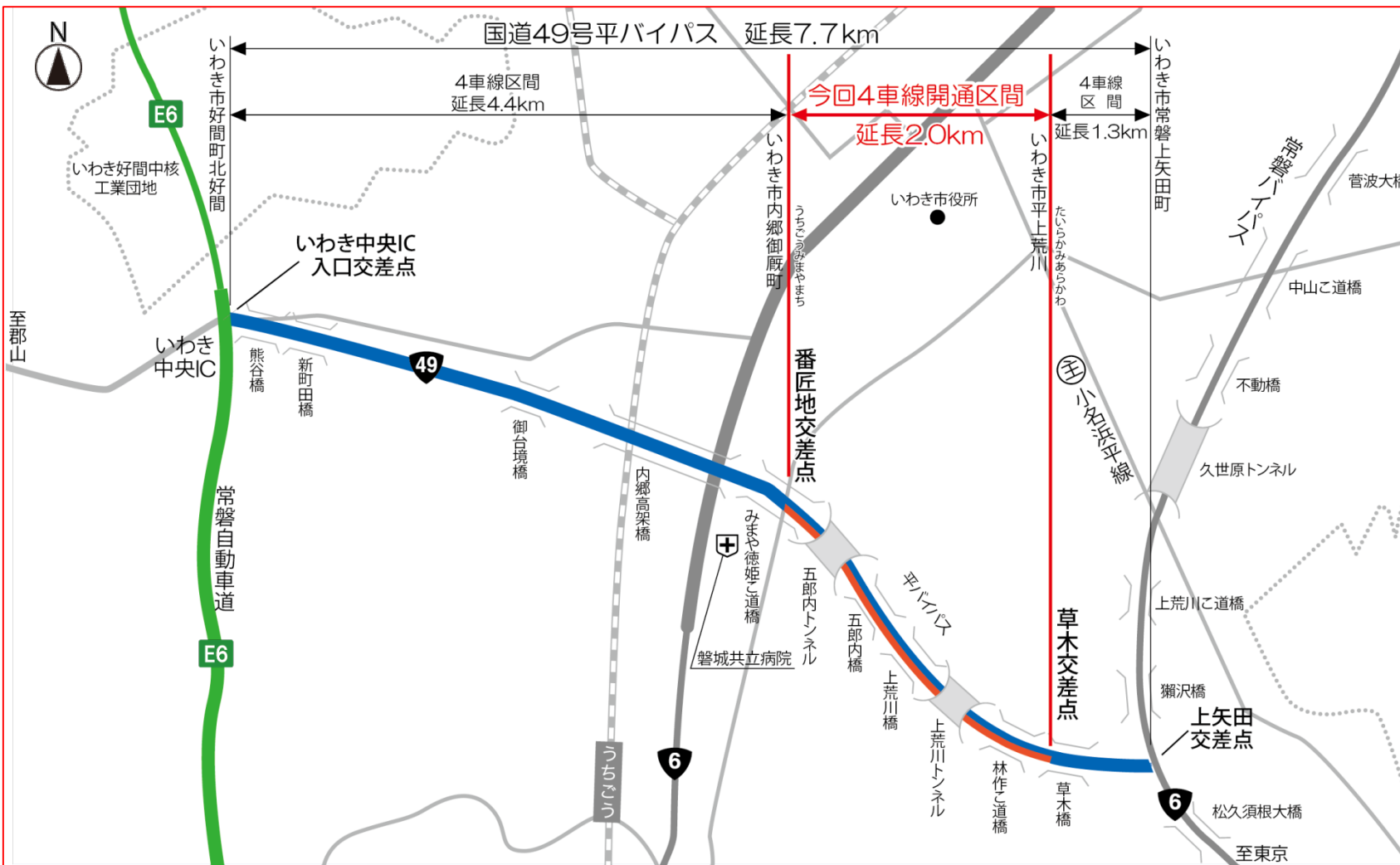
〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 磐城国道事務所

工務課長 ^{はしもと}橋本 ^{ゆきお}幸雄

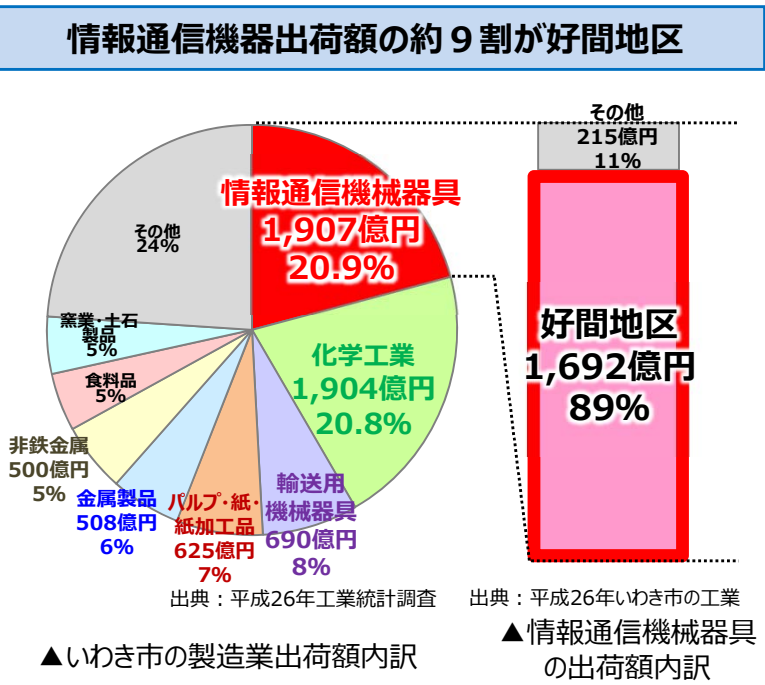
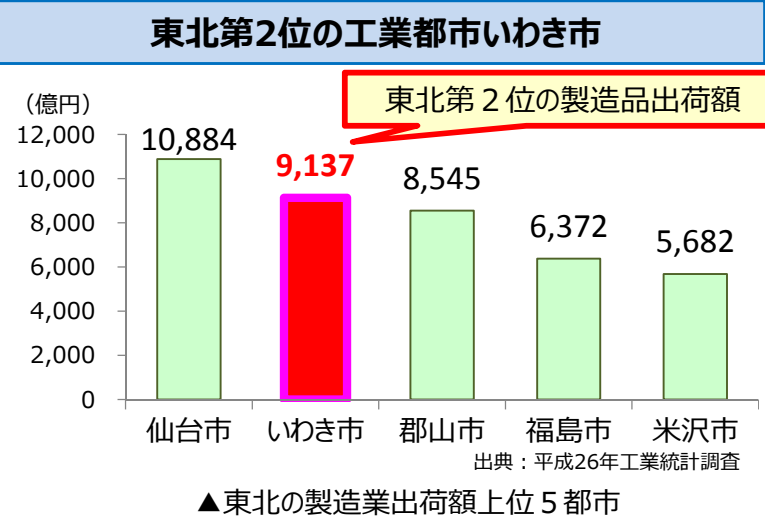
TEL 0246-23-2211（代表）

位置図



期待される効果① 東北第2位の工業都市いわき市の物流を支援

- ◆ 東北第2位の工業都市いわき市では、情報通信機器の出荷額が最も高く、特に好間地区に工場が集積
- ◆ 好間地区で生産された情報通信機器は、平バイパスを利用して小名浜港後背地の物流倉庫に集積し全国に配送
- ◆ 平バイパスの4車線全線開通により、輸送時間の短縮が見込まれ、定時性の向上に寄与



製造品の出荷に平バイパスを利用、輸送時間短縮に貢献

情報通信機械器具
例)スマートフォン等のタッチパネル

情報通信機械器具
例)カーナビゲーションシステム

いわき好間中核工業団地

いわき中央IC

平バイパス 延長=7.7km

- 4車線区間 延長=4.4km
- 今回4車線開通区間 延長=2.0km
- 4車線区間 延長=1.3km

情報通信機器の出荷に平バイパスを利用

区間	未整備時	現況	4車線開通後
上矢田交差点～いわき中央IC入口交差点	26分	16分	11分

出典：未整備：H11道路交通センサス
現況：H28民間プローブデータ (H28.11月平日朝ピーク平均)
4車線開通後：上記について未開通区間を60km/hとして算定

物流倉庫 (拠点)

小名浜港

至 東京

至 郡山

至 いわき市小名浜

H28.10.5朝7時台撮影

▲朝ピーク時の草木交差点周辺の渋滞状況

○物流企業の声

- ・朝や夕方、毎日のように渋滞に巻き込まれています。朝夕方は輸送のスケジュールを長めに調整しています

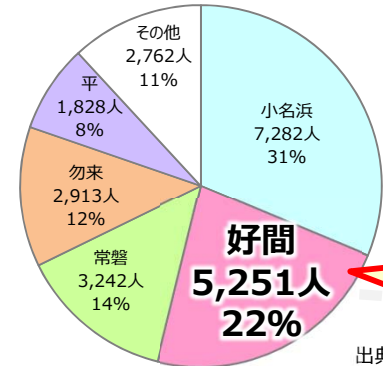
○情報通信機器製造企業 (好間地区) の声

- ・好間工場からの出荷品目は、全て平バイパスを利用し物流倉庫へ搬送しています
- ・製造の工程上、出荷時間が夕方となり、どうしても渋滞の時間帯に重なってしまいます
- ・平バイパスの4車線全線開通により搬送時間短縮を期待しています

期待される効果② 通勤者を支える平バイパス

- ◆ 県内有数の規模を誇るいわき好間中核工業団地では、1日5,000人以上の製造業従事者が通勤
- ◆ 通勤時間帯には、好間方面へ向かう暫定2車線区間がボトルネックとなり、約2kmの長い渋滞が発生
- ◆ 平バイパスの4車線全線開通により、通勤時間の短縮が図られ、通勤者の円滑な交通を支援

いわき好間中核工業団地では、
1日5,000人以上の製造業従事者が通勤



製造業従事者の
約2割にあたる
約5,000人が
好間地区に通勤

出典：平成26年いわき市の工業

▲いわき市の地区別製造業従事者数（勤務先）

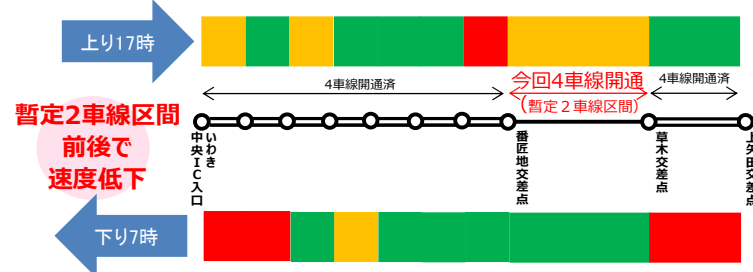
通勤者の円滑な交通を支援

4車線化により走行性が向上

未整備時 26分 → 現況 16分 → 4車線開通後 11分

出典：未整備：H11道路交通センサス
現況：H28民間プローブデータ（H28.11月平日朝ピーク平均）
4車線開通後 上記について未開通区間を60km/hとして算定

▲所要時間の変化
（上矢田交差点～いわき中央IC入口交差点）



■ 20km/h以下 ■ 20～40km/h ■ 40km/h以上
==== 4車線区間 ——— 2車線区間

出典：民間プローブデータ（H28年11月 平日朝タピーク時平均）

▲ピーク時における旅行速度



▲朝ピーク時の上矢田交差点周辺の渋滞状況

暫定2車線区間で渋滞発生



○通勤者の声

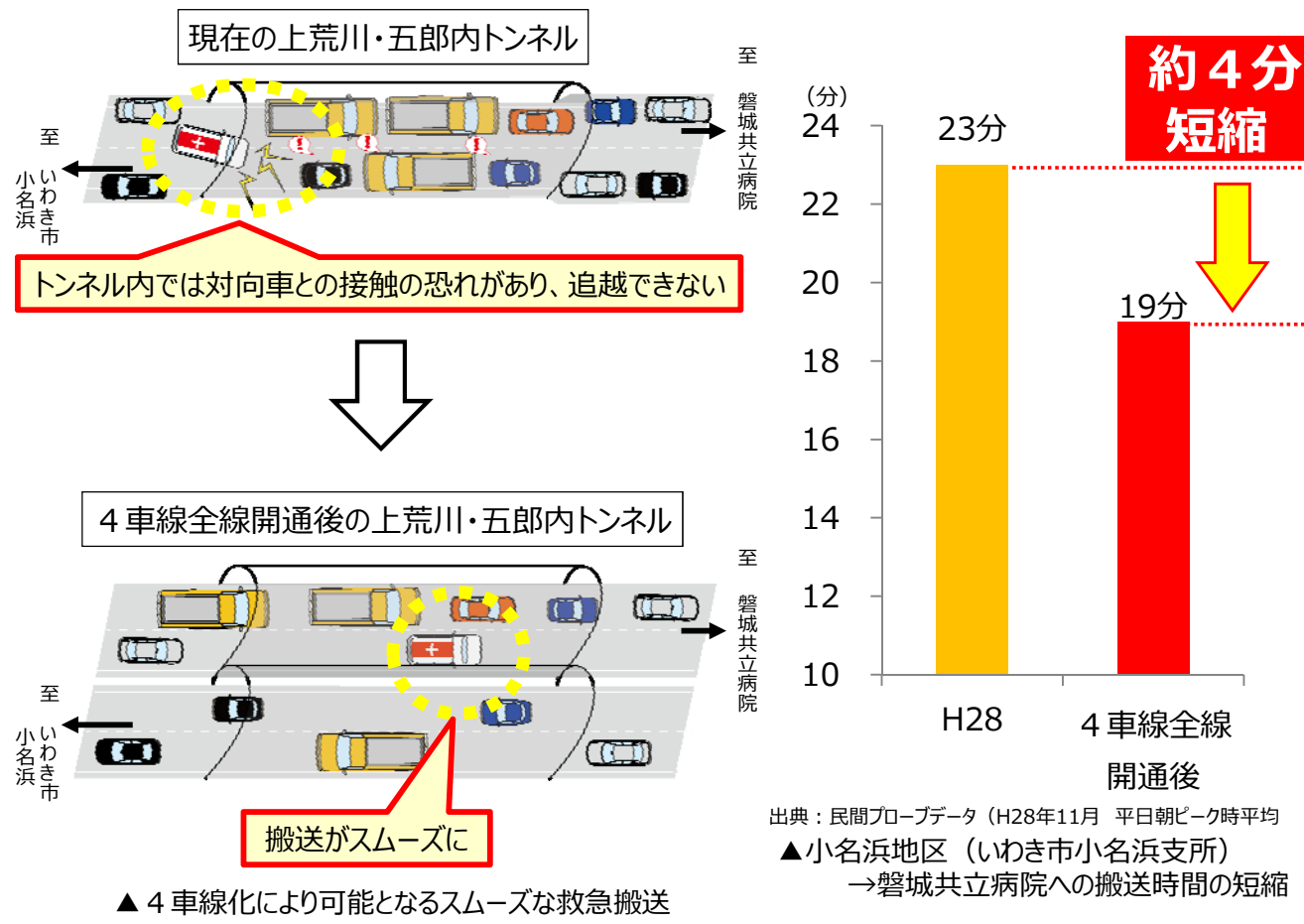
・これまでは、子供の通学よりも早く家を出なければ会社に間に合いませんでした
平バイパスが4車線全線開通すると、子供を見送った後に通勤ができそうです

期待される効果③ いわき市近郊の救急医療活動を支援

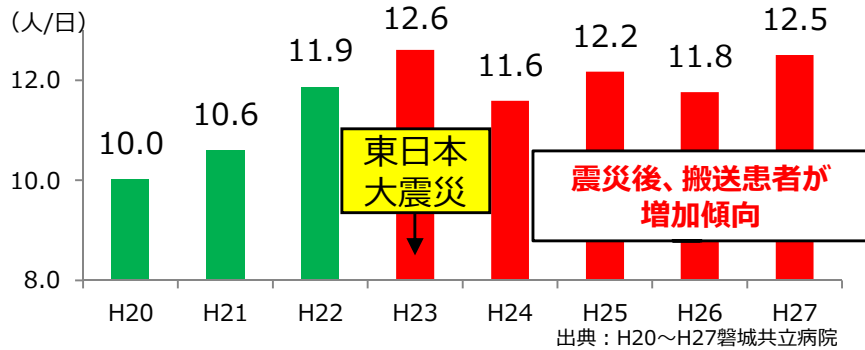
- ◆ 磐城共立病院は、浜通り唯一の第三次救急医療機関
- ◆ 病院には1日平均約13人が救急搬送され、震災以降増加傾向
- ◆ 平バイパスの4車線全線開通により、救急搬送時間の短縮や安定的な搬送に貢献



4車線化により可能になるスムーズな救急搬送



救急患者は震災後増加傾向



▲ 磐城共立病院の救急患者数 (救急車で搬送) <日平均>

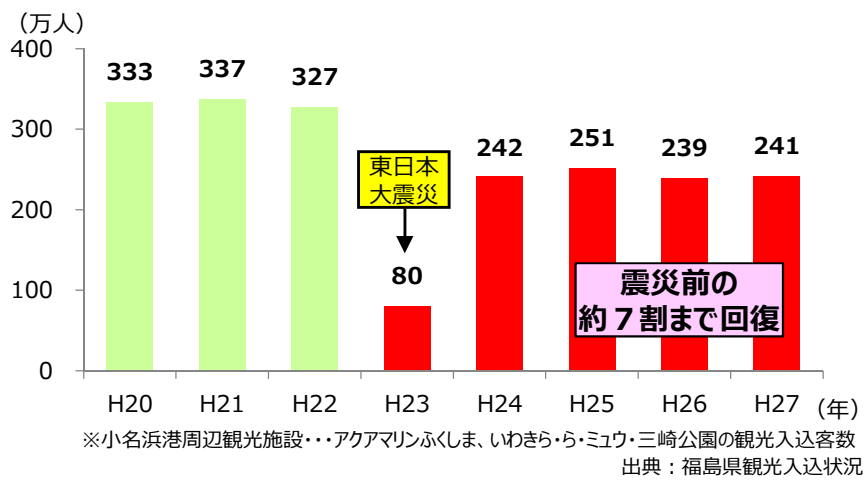
○ いわき市消防本部の声

- ・ 上荒川トンネル、五郎内トンネル内は狭いので追い越すことができず、救急搬送のボトルネックになっています
- ・ 平バイパスの4車線開通により救急搬送時間の短縮、スムーズな搬送に期待しています

期待される効果④ いわき市内の観光地へのアクセスルート

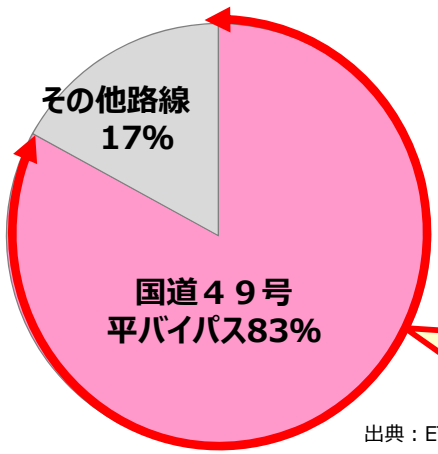
- ◆ 観光施設が集積するいわき市小名浜港周辺では、観光入込客数が震災前の約7割まで回復
- ◆ 休日には、郡山・仙台方面から小名浜港周辺観光施設へのアクセスルートとして平バイパスを利用
- ◆ 平バイパスの4車線全線開通により、観光活性化を支援し、復興にも貢献

観光入込客数が震災前の約7割まで回復



▲小名浜港周辺観光施設*の観光入込客数の推移

平バイパスはいわき市主要観光地へのアクセスルート



いわき中央ICといわき市の主要観光地へのアクセスルートに、国道49号平バイパスが利用される

出典：ETC2.0データ (H28.7月～H28.9月休日)

▲いわき中央IC～小名浜港周辺を移動する休日交通の経路選択状況

観光活性化の支援、復興に貢献



▲いわきら・ら・ミュウ (観光物産センター)



▲アクアマリンふくしま (水族館)



▲三崎公園 (いわきマリントワー)

▲小名浜港周辺の観光施設の立地状況